



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ヤシマキザイ 上場取引所 東
コード番号 7677 URL <https://www.yashima-co.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高田 一昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 阿部 昌宏 (TEL) 03-4218-0096
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,070	26.7	67	—	115	—	115	—
2025年3月期第1四半期	6,371	△0.5	△13	—	△112	—	△120	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 234百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 11百万円(△74.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	40.39	—
2025年3月期第1四半期	△42.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	22,714	9,526	41.9
2025年3月期	25,394	9,364	36.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 9,526百万円 2025年3月期 9,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,000	3.3	150	—	290	—	190	66.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,880,000株	2025年3月期	2,880,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	10,596株	2025年3月期	10,596株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	2,869,404株	2025年3月期1Q	2,864,595株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費に持ち直しの動きが見られ、企業収益や設備投資意欲の改善もあって景気は緩やかな回復基調を維持しておりますが、海外の地政学的な緊張状態の継続、中国経済の失速や米国の関税引き上げとそれに伴う貿易摩擦等による下振れリスクが存在しており、依然として先行きは不透明な状況にあります。また、当社グループの主要顧客である鉄道事業者においては、国内旅行やインバウンド等の移動需要の回復により、業績は増収増益を示し、回復基調で推移しました。

そのような状況のもと当社グループは、2024年度から2026年度の3ヶ年中期経営計画を策定しており、(1)安定成長軌道への回帰、(2)新たな企業価値の創出、(3)2027年3月期ROE 5%超、の3つを基本目標に掲げ、当社グループの事業環境を踏まえて対処すべき課題等に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、国内において主要顧客である鉄道事業者の業績回復を受けた旺盛な需要が下支えとなり、また顧客の製造工程が遅れや前倒しにより当初想定より変化したことを受け、前期や当第2四半期以降に予定されていた納品が当第1四半期連結累計期間に集中したこともあり、売上高は8,070百万円（前年同期比26.7%増）、営業利益は67百万円（前年同期は13百万円の損失）、経常利益は115百万円（前年同期は112百万円の損失）となりました。また、過年度に当社連結子会社「亜西瑪（上海）貿易有限公司」（以下「ヤシマ上海」）が開始した新規取引において、販売先と仕入先が事実上一体となってヤシマ上海を挟む形の商流を形成している疑義を識別し、債権回収に生じるリスクを鑑みて、貸倒引当金を計上しておりましたが、当第1四半期決算短信提出日までの債権回収額について貸倒引当金戻入額を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は115百万円（前年同期は120百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(鉄道事業)

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の業績が増収増益となり、設備投資意欲の回復等を受けて受注環境が好転したことや、顧客の製造工程が変化した影響もあって、売上高は堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,547百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益は96百万円（前年同期比303.1%増）となりました。

(一般事業)

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としております。取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。産業機器メーカー等で在庫調整局面の影響が緩やかな改善を見せた一方で、原子力発電所の再稼働延期等を受けた電力用機器メーカーの需要低迷等がブレーキとなり、全体として売上高は低調に推移しました。

その結果、売上高は523百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失は29百万円（前年同期は37百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は22,714百万円で、前連結会計年度末に比べ2,680百万円減少しております。主な要因は、投資有価証券(2,128百万円から2,415百万円へ287百万円増)、電子記録債権(1,114百万円から1,353百万円へ238百万円増)が増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産(5,847百万円から4,512百万円へ1,334百万円減)、現金及び預金(9,571百万円から8,647百万円へ923百万円減)、営業未収入金(808百万円から110百万円へ698百万円減)が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は13,187百万円で、前連結会計年度末に比べ2,842百万円減少しております。主な要因は、電子記録債務(1,007百万円から1,118百万円へ110百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(10,978百万円から9,147百万円へ1,830百万円減)、営業未払金(1,116百万円から158百万円へ957百万円減)、契約負債(487百万円から365百万円へ122百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,526百万円で、前連結会計年度末に比べ162百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金(652百万円から837百万円へ185百万円増)、利益剰余金(7,441百万円から7,485百万円へ44百万円増)が増加した一方、為替換算調整勘定(417百万円から350百万円へ66百万円減)が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,571,185	8,647,987
受取手形、売掛金及び契約資産	5,847,651	4,512,820
営業未収入金	808,773	110,734
電子記録債権	1,114,926	1,353,682
有価証券	2,000,000	2,000,000
棚卸資産	1,702,136	1,550,734
未収入金	140,918	114,826
その他	734,084	751,823
貸倒引当金	△122,853	△103,152
流動資産合計	21,796,823	18,939,457
固定資産		
有形固定資産	33,250	47,111
無形固定資産	53,932	50,474
投資その他の資産		
投資有価証券	2,128,210	2,415,985
繰延税金資産	202,059	81,685
長期未収入金	333,172	321,291
その他	1,282,869	1,280,423
貸倒引当金	△435,950	△422,265
投資その他の資産合計	3,510,361	3,677,120
固定資産合計	3,597,544	3,774,706
資産合計	25,394,367	22,714,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,978,021	9,147,828
営業未払金	1,116,004	158,304
電子記録債務	1,007,604	1,118,256
未払法人税等	18,688	3,873
契約負債	487,753	365,176
リース債務	8,126	6,331
賞与引当金	246,051	135,063
受注損失引当金	362,331	378,611
その他	214,493	285,146
流動負債合計	14,439,074	11,598,591
固定負債		
繰延税金負債	171,390	166,835
退職給付に係る負債	826,512	833,070
役員退職慰労引当金	138,412	138,412
債務保証損失引当金	385,000	374,000
資産除去債務	40,868	40,942
リース債務	8,921	15,138
その他	20,122	20,438
固定負債合計	1,591,227	1,588,837
負債合計	16,030,301	13,187,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,900	99,900
資本剰余金	755,479	755,479
利益剰余金	7,441,080	7,485,232
自己株式	△2,228	△2,228
株主資本合計	8,294,230	8,338,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	652,746	837,776
為替換算調整勘定	417,088	350,575
その他の包括利益累計額合計	1,069,834	1,188,352
純資産合計	9,364,065	9,526,735
負債純資産合計	25,394,367	22,714,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,371,461	8,070,865
売上原価	5,503,576	7,049,076
売上総利益	867,885	1,021,788
販売費及び一般管理費	881,069	954,596
営業利益又は営業損失(△)	△13,184	67,192
営業外収益		
受取利息	1,962	3,357
受取配当金	22,661	25,950
賃貸料収入	14,358	14,812
受取出向料	20,460	13,749
債務保証損失引当金戻入益	—	※2 11,000
その他	1,032	7,573
営業外収益合計	60,476	76,443
営業外費用		
支払利息	9	8
賃貸原価	2,770	3,181
為替差損	1,404	24,066
持分法による投資損失	155,171	—
その他	—	528
営業外費用合計	159,355	27,784
経常利益又は経常損失(△)	△112,064	115,850
特別利益		
貸倒引当金戻入額	※1 14,469	※1 23,034
特別利益合計	14,469	23,034
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△97,595	138,884
法人税、住民税及び事業税	2,538	8,705
法人税等調整額	20,431	14,291
法人税等合計	22,970	22,997
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120,565	115,887
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△120,565	115,887

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120,565	115,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,638	185,029
為替換算調整勘定	97,759	△66,512
その他の包括利益合計	132,397	118,517
四半期包括利益	11,832	234,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,832	234,404

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,831,089	540,372	6,371,461	—	6,371,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,831,089	540,372	6,371,461	—	6,371,461
セグメント利益又は損失(△)	24,026	△37,210	△13,184	—	△13,184

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,547,711	523,153	8,070,865	—	8,070,865
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,547,711	523,153	8,070,865	—	8,070,865
セグメント利益又は損失(△)	96,861	△29,669	67,192	—	67,192

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	9,376千円	10,579千円

(注) 負ののれんの償却額は金額的重要性がないため、記載を省略しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 貸倒引当金戻入額

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

中国の連結子会社である亜西瑪(上海)貿易有限公司(以下、「ヤシマ上海」)における2023年3月期の不正調査の過程において、仕入先と得意先が実質的に一体である取引が判明し、取引の実在性に疑義のある取引を識別しました。しかし、得意先の協力が十分得られず、取引の実在性を十分に確認することができませんでした。そのため、当社は当該取引を不適切な取引であると認識し、売上取引を取り消すと同時に、ヤシマ上海における仕入先と得意先とは2023年6月に取引を停止しました。

当該商流におけるヤシマ上海の2023年6月までの支払額から入金額を控除した金額を正味支出額とし、回収可能性が確実と認められる金額以外については貸倒引当金を計上しておりました。

なお、得意先に対しては、債権回収期限の猶予により資金繰り負担を軽減することにより事業の継続を支援し、未収金の全額回収を目指すこととしました。

その結果、期中レビュー報告書日までの正味回収額14,469千円を特別利益の貸倒引当金戻入額として計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

中国の連結子会社である亜西瑪(上海)貿易有限公司(以下、「ヤシマ上海」)における2023年3月期の不正調査の過程において、仕入先と得意先が実質的に一体である取引が判明し、取引の実在性に疑義のある取引を識別しました。しかし、得意先の協力が十分得られず、取引の実在性を十分に確認することができませんでした。そのため、当社は当該取引を不適切な取引であると認識し、売上取引を取り消すと同時に、ヤシマ上海における仕入先と得意先とは2023年6月に取引を停止しました。

当該商流におけるヤシマ上海の2023年6月までの支払額から入金額を控除した金額を正味支出額とし、回収可能性が確実と認められる金額以外については貸倒引当金を計上しておりました。

なお、得意先に対しては、債権回収期限の猶予により資金繰り負担を軽減することにより事業の継続を支援し、未収金の全額回収を目指すこととしました。

その結果、当第1四半期決算短信提出日までの正味回収額23,034千円を特別利益の貸倒引当金戻入額として計上しております。

※2. 債務保証損失引当金戻入益

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社におけるインド市場でのパートナー企業であるRENMACKCH INDIA PRIVATE LIMITED(以下、レンマック社)に対し、インド地下鉄向け案件等、今後のODA案件参画に向けた実績となる案件を受注し手掛ける際に、当社はスタンバイLCを発行してその資金調達を支援しております。なお、2025年6月末日時点でレンマック社に対するスタンバイLC発行による債務保証額は220百万インドルピーとなっております。

2025年3月期において、レンマック社の業況等を鑑み、2025年3月期末日における債務保証額220百万インドルピーに相当する円価額385百万円を債務保証損失引当金繰入額として計上しております。2025年6月末日時点においては、インドルピー建ての債務保証額に増減はありませんが、当社使用レートの洗替による債務保証損失引当金戻入益11百万円を計上しております。